

聖母の小さな学校 通信

第 103 号
2015 年
2 月 1 日 発行
聖母の小さな学校

聖母の小さな学校での学びを、自分なりにまとめ、
力にしよう！

～ 平和学習：沖縄修学旅行を充実させよう ～

立春の候、立つ風も梅の香を運び来る頃となりました。生徒たちは今、不登校の自分の現実を自分の学びの段階で受け止めながら、自分の課題に取り組んでいます。聖母の小さな学校に通って学んでいることの意味を少しずつつかんでいる生徒（不登校ではない生徒とつい比べてしまい、焦ってしまうようです）。また、いよいよこの春、聖母を卒業する生徒は「さみしい」と言いながら、次の学校を中心とした生活を充実させるために、アルバイトなどを具体的に考え、行動しています。聖母で学んだことが、今後の力になるように、まとめておきたいと思います。また、過年度生は、全日制高校を受験します。今までしたことがないほど、まじめに（受験）勉強をしてもらいたいと思います。それぞれの歩みを大事にしたいと思います。

さて、平成 18 年度に聖母を卒業した武内 浩君（城北中学校卒）が、正月休みに近況報告に来てくれました。彼は聖母に入学とほぼ同時に西舞鶴高校通信制に入学し、社会に出る練習をしました。アルバイトをしながら卒業し、辻調理師専門学校へ入学しました。卒業後も更に 1 年残って中華料理を深めました。そもそも、聖母の修学旅行で中国の大連・北京に行った経験から始まったことです。その後、大阪ヒルトンホテルの中華料理部門に就職し、3 年目になります。去年は、ヒルトンホテルグループの料理コンテストで、準優勝しました。大変な仕事ですが、意欲的に元気に働いています。うれしく思います。

また、1/29（木）に、東京で開かれた文部科学省の「平成 26 年度 いじめ対策等生徒指導推進事業」連絡協議会で

「自分を見つめて ～聖母の小さな学校の不登校教育～」として、事例発表をいたしました。児童生徒課長や生徒指導室長から質問があり、都会のフリースクールとの質の違いや、不登校を意味のあるものとして「学び、生きる」教育について答えました。この際、国に対して要望があれば出してみてもどうか、と児童生徒課長が言いましたので、少し答えました。いずれにしても、「聖母の小さな学校」の不登校教育について、評価が得られ、良かったと考えています。皆様に感謝いたしますと共に、今後もよろしくお願ひいたします。



ヒルトンホテルグループの料理コンテストで準優勝した武内君（右）

<今月の主な行事>

2/3 日・17 日	中国語教室	2/13 日	華道教室
・16 日	茶道教室		月例保護者会 19:30～
2/12 日	陶芸教室	2/19～21 日	平和学習：沖縄修学旅行